

令和5年度建設部会活動 報告書（第一回 現場見学会）

中国本部建設部会

|             |   |     |        |
|-------------|---|-----|--------|
| 事業名称        | 公益社団法人日本技術士会 中国本部 建設部会<br>第一回 現場見学会   |     |        |
| 実施時期        | 2023年10月19日(木) 14:00～16:00  |     |        |
| 実施場所        | 中国インフラ DX センター※（中国地方整備局中国技術事務所 構内）  |     |        |
| 参加人数        | 20名   | CPD | 2時間00分 |
| 事業内容<br>と感想 | <p>【目的】国土交通省は、建設現場の生産性向上と働き方改革を推進していくためインフラ分野のDXに取り組んでおり、新たに開設された「中国インフラ DX センター」は人材育成を目的にDXに関する技術等を体験できる施設の見学を行い最新の技術動向を習得した。</p> <p>【見学内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①中国インフラ DX センターの概要（10分）</li> <li>②山陰西部国道事務所発注工事現場三か所の遠隔見学（40分）</li> <li>③DX センターの体験見学（5名一組で施設体験）（70分）</li> </ul> <p>【参加者状況】申込者：20名 参加者20名 アンケート13名</p> <p>【参加者の反応】アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎見学会の満足度（1 非常満足～5 まったく不満足 5段階評価）<br/>[1] 58% [2] 41% [3] 0% [4] 0% [5] 0%</li> <li>◎ご自分の仕事に役立つ内容がありましたか。（1 非常あった～5 無かった）<br/>[1] 17% [2] 67% [3] 17% [4] 0% [5] 0%</li> <li>◎この見学会では、主にどのようなことが参考になりましたか</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DX の波がどんどん押し寄せてきており、取り残されないように日々研鑽が必要と感じました。</li> <li>・ ICT 建設機械の衛星取得範囲と稼働率等、遠隔臨場ほか VR や AR を体験したことがなかったので、理解が深まった</li> <li>・ 通信環境の悪い現場で、ICT を施工する場合、固定局の設置や衛星回線を使用する必要があること。</li> </ul> <p>◎今後の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 午後14時～は会社の半休が使えてありがたいです。</li> <li>・ 建設業界の繁忙期になる前の見学会であり、非常に満足する見学会でした。</li> <li>・ 遠隔臨場が可能であれば技術士会事務所での開催も検討してください。</li> <li>・ もう少し時間があればよかったですと感じます。</li> </ul> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">遠隔現場見学</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="288 1462 756 1713" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="916 1462 1406 1713" data-label="Image"> </div> </div> <div data-bbox="288 1715 466 1771" data-label="Caption"> <p>LP 計測実演見</p> </div> <div data-bbox="501 1733 1203 2112" data-label="Image"> </div> |     |        |

